

MAST

Mikawa Akabane Shizuoka Toyohashi

岡崎教区広報誌

2025年1月

第12号

発行所／真宗大谷派岡崎教務所

発行人／錦 秀見

編集／教区教化委員会メディア部会

印刷／プラザー印刷株式会社

静岡地域教化センター活動紹介

静岡別院紹介

「涅槃図」絵解き

コールアパー活動報告

岡崎教区青少幼年教化通信

静岡地域教化センター活動紹介

〈主幹〉

第32組 正福寺 しょうふくじ

山名 正樹 やまな まさき

岡崎教区では教区内4別院に「地域教化センター」という組織が置かれ、それぞれ教化事業を行っています。今回は静岡別院を拠点とする静岡地域教化センターの活動を紹介いたします。

「静岡地域教化センター」は、数年の準備期間を経て、2013年に静岡別院崇敬区域である県内5カ組(31〜35組)に密着した共同教化・共同学習の企画及び実践、並びに人材育成を目的として正式に発足しました。センター長1名(静岡別院輪番)、主幹1名、各組から選出された委員10名(各組から2名)、事務局2名(別院職員)で構成されます。

これまでに行った主な教化事業としては、お内仏(仏壇)・葬儀式・墓に関する学びがあります。真宗の儀式作法に則した葬儀執行の在り方を葬儀社にも参画いただいて一緒に研修したり、真宗に相応しい墓石についてチラシを作成して石材店に配ったりするなど、他宗派の寺院が多い静岡地域でしっかりと真宗の教えを伝えられるような取り組みを行いました。

また、人材育成の一環として長年にわたり雅楽を学ぶ講習会を実施しました。地域内の若手僧侶を中心に、名古屋まで定期的に通って雅楽を学びました。今では「自然楽会」という楽団を立ち上げ、別院報恩講をはじめ各寺院で法要の楽僧として出仕しています。静岡の地で雅楽が傳承されていくという素晴らしい成果となりました。

静岡独自の取り組みとして、「指定組教化」という事業も実施しました。静岡地域は県内全域を範囲とする広い地域のため、別院のみで事業を行うのではなく、各組で事業を展開しました。それぞれの個性を生かした事業を実施することができました。今年度の事業は以下の通りです。

◆「指定組教化」

第31組が実施。6月15日(土)、14時から掛川生涯学習センターで桂小春団治氏を迎え、「真宗落語」を開催。200人強が参加。

◆「仏華に学ぶ講習会」(第3回)

テーマ：報恩講の本堂中尊前の立華・超基礎編。講師は洲崎善範氏(大阪教区第13組即念寺住職)。9月3日(火)、静岡別院にて実施。

◆「若葉のつどい」(第2回)

テーマ：すぐに役立つ声明儀式・葬儀編、

10月7日(月)〜8日(火)、地域内の若手僧侶を対象に静岡別院にて実施。講師は鬼頭武志氏(本願部堂衆)。

◆「真宗の教化を学ぶ研修会

〜教化の事例紹介もあります〜

2025年3月5日(水)〜6日(木)、静岡別院にて実施予定。講師は寺澤三郎氏(北海道教区教化本部長、北海道教区第13組教證寺住職)。
※詳細は7ページ「おいでんみりん」をご確認ください。



仏華に学ぶ講習会



若葉のつどい



静岡別院紹介

静岡別院の崇敬区域である静岡県はもともと真宗寺院の少ない地域です。有力な寺院はありませんが、別院はありませんでした。

静岡別院が創建されるきっかけには、江戸から明治への大きな時代の変化があります。江戸時代の終焉とともに、徳川家を相続した徳川家達^{いえさと}は静岡県に移住しました。それに伴い、多くの旧幕臣も静岡に移住しました。そのような状況において、第21代^{にじゅういちだい}殿如上人^{たにがよしかん}が静岡別院創建を発願されました。移住してきた真宗門徒のよりどころとするため、激動の時代に静岡地域の寺院の結束の場を作るためなど、創建発願の理由を推察することはできませんが、定かではありません。

そして、1871年3月に遷仏遷座法要が勤められ、静岡別院が創建されました。ご本尊は西敬寺（静岡市駿河区）に安置されていたものが遷され、本堂は静岡市上石町の明泉寺が土地と建物を献納し、そこを別院本堂としました。

別院創建には、^{みやばらほくせき}宮原木石氏の尽力がありました。宮原氏は旧幕臣であり、徳川家とともに静岡に移住、1868年には静岡藩が設置した静岡学問所の教授もつとめました。徳川家と東本

願寺の関係を調べるために東本願寺を訪れるうちに真宗の教えに帰依し、別院創建に携わるようになりました。その功績を称え、別院境内には木石堂という塔（現在は規模を縮小）が建立され、1990年には百回忌法要も勤められています。

この時代に別院を創建することがいかに大変であったか、時代背景を知るとより理解が深まります。明治時代は神道国教化の政策が進められ、仏像・仏具・経巻等の破壊、廃寺・合併も行われるなど、仏教にとって大変厳しい時代でした。

静岡別院創建と同時期、火災により豊橋別院本堂等が焼失するという出来事がありました。豊橋別院にはこの時点で240年ほどの歴史がありました。廃寺の命が出されてしまいました。地元寺院や門徒の尽力で何とか存続となりましたが、この時期の寺院の苦難が伺えるエピソードです。そのような時代に静岡別院は創建されました。

静岡別院も2度の火災にあっています。1度目は1899年、市内中心部1000戸以上

が被害を受けた大火災が起こり、別院も全焼してしまいました。本山両堂の再建、濃尾大地震、日清戦争といった出来事もあり、再建工事が始まったのは火災から13年後のことでした。2度目は太平洋戦争末期の静岡大空襲による火災です。この時も全焼となりました。

2度とも関係者の多大なご苦勞・ご尽力により再建され、現在に至るまで静岡地域の教化の中心としての役割を担っています。

参考資料：『別院探訪』、『創建120年並宮原木

石翁百回忌記念 静岡別院創立誌』



静岡別院外観



現在の木石堂

ねはんず 「涅槃図」 絵解き

第16組 本證寺
おやま 小山 興円
こうえん

住所…安城市野寺町
野寺26番地



▲平成涅槃図（本證寺所蔵）



2500年前、お釈迦さまはインドのクシナガラにて入滅されました。その時の様子を『大般涅槃經』を基に描いたものが「涅槃図」です。

「涅槃」あるいは「入滅（ニルヴァーナ）」は、すべての煩惱の火が吹き消された状態、覚りの境地を指しています。

入滅されたとされる3月

15日（旧暦の2月15日）には、全国各地の寺院で涅槃図を荘厳し、「涅槃会」が勤められます。

35歳で覚りを開かれブツダとなられたお釈迦さまは、以来45年間、インド中を遊行されます。そして80歳の御年、クシナガラの上に至ります。

お釈迦さまは、沙羅双樹の下で頭北面西右脇（頭を北、顔は西を向かれ、右脇を下にして）に臥されます。「私の亡きあととは、

自分自身を、そして仏法を灯として歩みなさい。もろもろの存在は変わりゆく。怠らず精進しなさい。」と説法され、宝床の上で静かに涅槃に入られます。

満月の下、神々や菩薩、シヨツクのあまり気絶する阿難尊者をはじめ、さめざめと泣き崩れるお弟子や動物たち、腰を抜かす仁王や竜王、阿那律尊者に先導され、忉利天

から不老不死の薬を携え雲に乗って駆けつける摩耶夫人。お釈迦さまの労をねぎらい御足をさする120歳の老婆。あらゆる衆生が入滅を悼んでいます。

そして四方に描かれる8本の沙羅双樹は、お釈迦さまが入滅されたと同時に片側4本が枯れ、片側4本はますます青く茂ったといいます。これは「四枯四榮」といい、お釈迦さまの肉体は無くなろうとも、お説きになられた仏法は、苦悩する衆生がいる限り、どこまでも救い続けるという真理の永劫性を表しています。

人間釈迦からダルマブツダへのダイナミズムを一枚の絵の中に凝縮させたのです。

お釈迦さまのお姿は、仏教徒の理想の姿として描かれてきました。涅槃図もまた、理想の死の在り方が示されています。涅槃図を仰ぐということは、自分自身の死の在り方を考えることであり、仏法に出遇うことの大事をいただくことでもあります。

沖縄コーラス交流会開催報告

岡崎教区コールアーバー 第2組 勝鬘皇寺 川村 幸子

2024年5月、清々しい青空のもと、北海道教区から「マユウラ」「レディースハーモニー」、金沢教区から「蓮」、岡崎教区から「コールアーバー」（以上、すべて合唱団）が真教寺（沖縄県那覇市）に会し、沖縄コーラス交流会を開催しました。指揮者に真宗大谷派合唱連盟委員長の武田龍太郎氏、ピアノ伴奏に作曲家の清澤久恵氏をお迎えし、沖縄戦をテーマにした「流転の島」を奏でました。

この「流転の島」はコールアーバー15周年を記念した楽曲で、作詞は田原大興氏（真教寺現住職）、作曲は清澤久恵氏（第14組西光寺出身）です。太平洋戦争末期の沖縄戦で命を落とした女子生徒を慰霊する「ひめゆりの塔」を建立したことで知られる、真教寺3世住職田原惟信氏（第17組願力寺出身）の功績をたたえるために作られました。

田原惟信氏は、凄惨な沖縄地上戦の中を生き延び、生かされたという思いから、戦没者の遺骨収集に奔走されました。「魂魄の塔」や「沖縄師範健児の塔」の建立にも携わったとされます。

この田原惟信氏の功績をたたえ、その生涯と沖縄の歴史を伝えていきたいという願いのもと、「流転の島」が完成しました。「今、一生懸命に生きている」ということを歌によって表現されている

と私は感じています。

現実にあつた戦争のことを忘れ、何もかも恵まれた私たち。何でも叶うという人間の勘違いから、自身を正義とし、その正義同士がぶつかりあい戦争へと発展していく。世界のあちこちでは、目を覆いたくなる様な惨状をテレビ等の映像で目の当たりにする日々。戦争はどれだけ正統性を訴えても暴力であります。

すべてのものは暴力に怯え、すべてのものは死を恐れる。自身の身に引き比べて、殺すなかれ殺さしむるなかれ。すべてのものは暴力に怯える

（釈迦）

この「流転の島」の曲・歌詞に含まれる思いを皆さんにお伝えできればと思います。

醒めることのない夢だった

絵筆をとるべき細い指は

血と泥と涙に染まる

悲しき乙女の歌声を じっと背に受け

いつか花咲くと夢見る君は

語り部となって立ち上がる

石に刻まれなくていい

願いは永遠にめぐるだろう

花咲きほこる 常夏の邦

涙の眠る 流転の島

（流転の島2番より）



真教寺本堂での集合写真



魂魄の塔前にて勤行

岡崎教区 青少年教化通信



第31組 法讀寺
おの ひろき
小野 大樹
住所…掛川市日坂933番地
(1981年生まれ)

第31組法讀寺さんの青少年教化の取り組みについて、住職の小野大樹さんにお話を伺いました。

―法讀寺さんはもと子ども会をしていますのですか？

昔は父親がやっていたんですが、僕が小学校を卒業してからは無くなってしまいました。ですので、僕が大人になって再開しました。近所の子どもを集めてお正月に作って余った餅をおかきにしたり、2月に節分をしたりしました。夏休みに映画鑑賞をしたこともあります。

―今回1泊2日のサマーキャンプをすることになったきっかけは何だったのですか？

もともと住職になったときに、友人から「子どもが暇だから、お寺で夏休み中に何かやってほしい」と言われていました。しかし、すぐに新型コロナの流行があり、何もできなくなっていました。ようやく今年できたという感じです。

1泊2日の行事というのは経験が無かったので教区教化委員会の青少年教化部会に企画を手伝ってもらいました。1泊の子ども会をしている部員から経験を交えた意見が聞けてありがたかったです。

―当日のスタッフはどうしましたか？

スタッフは近所の友人や後輩にやってもらいました。参加者の保護者が多いので5〜6人が手伝ってくれました。

―やってみて良かったことは何ですか？

参加者がみんな面白かったと言ってくれてうれしかったです。終了後に手紙をくれた子もいました。できれば来年もやってほしい、と書いてありました。今後は恒例の夏の行事にできればしていきたいです。

―大変だったこと、上手いかなかったことはありましたか？

部員と相談していたのでそこまで大変なことはなかったですが、食事の準備がとても暑かったのも、そこは考えたいです。また、各班で自己紹介をしなかったからか子どもが地域ごとにかたまっていました。来年からは違う地域の子どもたちが交じり合うような形にしたいです。

―小野さんには青少年教化部会の部長もしていただいています。部会の活動について一言お願いします。

青少年教化は今後のお寺のために重要な

〈 日 程 〉

1日目		2日目	
	缶バッチ(名札)作り	6:00	起床
13:30	開会式	7:00	お朝事
14:00	オリエンテーション	7:30	朝食
15:00	スイカ割り・かき氷	9:00	工作
16:30	腕輪念珠作り	10:30	掃除
17:30	お夕事	11:15	閉会式
18:15	夕飯	11:40	昼食・解散
19:00	入浴		
20:30	花火		
22:00	就寝		

だと思えます。大変そうだというイメージがあるかもしれませんが、やってみればきつと充実感を得られます。部会もお手伝いしますので、一緒にやってみませんか？

《「子ども会相談室」について》

教区教化委員会の青少年教化部会は、教区内寺院の子ども会設立・充実に支援する「子ども会相談室」という事業を行っております。「子ども会を始めてみたい」「子ども会について相談したい」という寺院を随時募集しておりますので、ご興味のある方は教務所までご一報ください。

〈岡崎教区青少年教化通信について〉

このページは教区教化委員会の青少年教化部会に協力いただいています。部会は、活動の「環」として寺院での青少年教化の取り組みを取材しており、「岡崎教区青少年教化通信」は、その内容をまとめたものです。今後さまざまな活動事例を紹介してまいります。



住職からのお話



みんなでお掃除



かき氷づくりのようす

みんなの掲示板 おいでんみりん

日 日時 会 会場 講 講師 内 内容 テ テーマ 持 持ち物 費 参加費 対 対象 問 問合せ

教 区

「部落差別問題学習会」

日 1月23日(木)
講 加藤 賢治氏(部落解放同盟愛知県連合会執行委員)
内 部落差別についての現地学習を行う
会 名古屋市中中央卸売市場南部市場、あま市人権センターなど
問 岡崎教務所
☎ 0564-221-2136

「得度研修会」

日 2月9日(日) 10時～16時30分
 3月31日(月) 10時～15時
 ※2回ともご出席ください
費 1回2,000円
 ※詳細は教区通信11月号同封の参加募集をご確認ください
会 問 岡崎教務所
☎ 0564-221-2136

団 体

教区防守会

「第2回防守講座」

日 1月21日(火) 10時～12時
講 堀田 護氏(第7組本宗寺)
テ 本堂の荘厳
費 500円
会 問 岡崎教務所
☎ 0564-221-2136

岡崎教区声明研究会

「第一回 公開講習会」

日 2月17日(月) 14時～16時
講 鬼頭 武志氏(本願部堂衆)
テ 「法事をつとめる」～門徒宅における法事の作法を中心に～
持 間衣・輪袈裟(僧侶のみ)、小念珠、昭和法要式等
費 500円(会費は無料)
会 問 三河別院庫裏
岡崎教務所
☎ 0564-221-2136

「声明講習会」

日 1月16日(木) 14時～16時
 4月15日(火) 14時～16時
 6月13日(金) 14時～16時
講 岡崎教区准堂衆会

内 参加者の希望に応じて決定

持 希望する内容に必要と思われるもの

費 3,000円(年会費) ※一度だけの参加でもこの金額となります

会 問 教務所研修場
 岡崎教務所

☎ 0564-221-2136

地 域

東三河地域教化センター

「聖教学習会 歎異抄に聞く」

日 1月17日(金) 14時～16時
講 平原 晃宗氏(大谷中・高等学校宗教科講師、京都教区正蓮寺)
テ 歎異抄第十四条
費 500円
会 問 豊橋別院
☎ 0532-1521-5003

赤羽地域教化センター

「真宗講座」

日 1月22日(水)
 2月19日(水)
 14時～16時(2回とも)
講 伊東 惠深氏(三重教区西弘寺)
テ 正信偈に学ぶ

費 1回500円

持 念珠、真宗聖典、肩衣(お持ちの方)

会 問 赤羽別院

☎ 0563-72-2308

静岡地域教化センター

「真宗の教化を学ぶ研修会」

～教化の事例紹介もあります～

日 3月5日(水)～6日(木)
講 寺澤 三郎氏(北海道教区教化本部長、北海道教区教證寺)
内 浄土真宗の教化についての講義と教区内寺院・組の活動事例紹介
費 10,000円(宿泊費・食事代含む)
会 問 静岡別院
 宿泊：静岡キャッスルホテル佐乃春
☎ 054-253-1737

組、有志で公開学習会の案内掲載希望の場合は教務所へお問い合わせください。『MAST』は年3回の発行予定です。紙面の都合で、掲載できない場合があります。

※内容は変更となる場合がございます。詳細は教区・団体については教務所、地域については各別院までお問合せください。

『MAST』表紙写真募集のお知らせ

『MAST』は年3回、1・5・9月に発行しており、表紙写真を教区の皆さまから募集しております。

次号第13号は5月の発行となります。写真撮影が趣味の方、ぜひお持ちの写真をご提供ください。お待ちしております。

※都合上、提供いただいた写真を使用できない場合もございます。

【提供方法】

岡崎教務所のメールアドレス：
okazaki@higashihonganji.or.jp宛てに写真のデータを添付してご送付ください。



これまでの表紙写真

岡崎教区LINE公式アカウントについて

この度、岡崎教区LINE公式アカウントを開設しました。教区内の慶弔や教化委員会の事業案内、各別院の諸法要をはじめ、災害情報の共有、教務所閉所日などを発信しますので、ぜひご登録ください。



編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は元日早々能登を中心に大きな災害に見舞われました。大きな揺れにあたふたしつつ、いつ来るかわからないものに対して様々な準備が必要だと思いました。今年は準備したことを忘れるくらい平穏無事な一年が過ごせることを祈っております。

(編集きょうごく)

法語

人間は一生を通して
誰になるものでない
自分になるのだ

仲野 良俊

なかの りょうしゅん
仲野 良俊

1916年(大正5年)～1988年(昭和63年) 京都府京都市に生まれる。大谷大学講師、北海道教学研究所所長、真宗大谷派教学研究所所長など歴任。

※この法語は『お東さんの日めくり法語カレンダー』(東本願寺出版)より抜粋しました。

みなさまの声をお聞かせください

『MAST』に対するご意見、ご要望をお寄せください。下記メールアドレスにて受け付けております。より多くの方に、手に取っていただける広報誌にするためにみなさまのご協力をお願いします。

岡崎教務所 (MAST担当) okazaki@higashihonganji.or.jp



岡崎教務所 ☎ 0564-22-2136



岡崎教区ホームページ



岡崎教区facebook